

作成日 : 2019 年 11 月 8 日
 改訂日 : 年 月 日

安全データシート

【1. 製品及び製造者情報】

製品名 : KZR-CAD ワックスディスク
 会社名 : YAMAKIN株式会社
 住所 : 〒543-0015 大阪府大阪市天王寺区真田山町3番7号
 電話番号 : 06-6761-4739
 FAX番号 : 06-6761-4743

【2. 危険有害性の要約】

GHS 分類

健康に対する有害性

・眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 : 区分 2B (軽度の眼刺激)

・特定標的臓器毒性

単回ばく露 : 区分 3 (気道刺激性)

ラベル表示

・表示 :



・注意喚起語 : 警告

・危険有害性情報 : 眼刺激
呼吸器への刺激のおそれ

注意書き

- ・安全対策 : 取り扱い後はよく手を洗うこと。
粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・応急措置 : 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。
- ・保管 : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- ・廃棄 : 内容物、容器を地方、国の規則に従って廃棄すること。

【3. 組成・成分情報】

単一製品・混合の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : 固形パラフィンとポリマーの混合物
成分及び含有量 :

化学物質名	化学式	含有率 wt %	CAS No.
固形パラフィン	C_nH_{2n+2}	28～46	8003-74-2
ポリマー	非公開	50～69	非公開 (有り)
顔料	非公開	3～4	非公開 (有り)
添加材	非公開	<0.1	非公開 (有り)

【4. 応急措置】

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。
(溶融ワックスの場合) : 皮膚に付着した部分を水に浸し冷やす（氷水及び氷パックをあてがうのも有効である）。しかし、身体の10%以上を火傷した場合はショックを与えることがある為、前述の冷却処置を行わず、速やかに医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。
気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。
- 予想される急性症状及び遅発性症状 : 眼、鼻、喉を刺激する。

【5. 火災時の措置】

- 消火剤 : 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
- 使ってはならない消火剤 : 棒状放水
- 特有の危険有害性 : 熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。
激しく加熱すると燃焼する。
火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
安全に対処できるならば着火源を除去すること。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣（耐熱性）を着用する。
消火作業は可能な限り風上から行う。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

【6. 漏出時の措置】

- 人体に対する注意事項、
 保護具及び緊急時措置 : 関係者以外は近づけない。
 適切な保護具を着用する。
 こぼれた場所はすべりやすいため注意する。
- 環境に対する注意事項 : 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
 下水、排水中に流してはならない。
- 封じ込め及び
 浄化の方法／機材 : 不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。
 掃き集めて、容器に回収する。
 乾燥した土、砂、不燃材料に吸収もしくは覆って容器に移す。
- 二次災害の防止策 : 着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
 全ての発火源を取り除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）

【7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い

- ・技術的対策 : 3,000 kg 以上の量を貯蔵又は取り扱う場合には、市町村条例に定められた基準を満足すること。
- ・局所排気／全体換気 : 排気/換気設備を設ける。
- ・安全取扱注意事項 : 取扱中は飲食、喫煙してはならない。
 粉じん/ヒューム/蒸気/スプレーの吸入を避ける。
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用する。
 眼に入らないようにする。

保管

- ・保管条件 : 日光から遮断し、換気の良い場所で保管する。
 容器を密閉しておくこと。
- ・避けるべき保管条件 : 酸化剤から離して保管する。
 直射日光を避け、冷暗所で保管する。

【8. ばく露防止及び保護措置】

- 管理濃度 : 設定されていない（労働省告示第 26 号 作業環境評価基準）
 許容濃度

成分	化学式	日本産業衛生学会 (2019 年版) 許容濃度(mg/m ³)	ACGIH (2019 年版) TLV-TWA(mg/m ³)
固形パラフィン	C _n H _{2n+2}	—	2.0 (ヒュームとして)
ポリマー	非公開	—	—
顔料	非公開	—	—
添加材	非公開	—	—

- 設備対策 : 排気/換気設備を設ける。
 洗眼設備を設ける。
 作業場ないし貯蔵場には安全シャワーを設置する。
 高熱取扱いで、工程で粉じん、ミスト、ヒュームが発生するときは、
 空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。

保護具

- ・呼吸器の保護具 : 換気が不十分な場合、適切な呼吸器保護具を着用する。
 - ・手の保護具 : 保護手袋を着用する。
(推奨材質) 非浸透性もしくは耐化学品ゴム
 - ・眼の保護具 : 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
 - ・皮膚及び身体の保護具 : 保護衣を着用する。
- 衛生対策 : 取扱い後は、よく手を洗うこと。

【9. 物理的及び化学的性質】

物理的状態、形状、色など

(いずれも代表値を示す)

- ・形状 : ろう状固体
- ・色 : 灰色
- ・臭い : わずかな臭気あり
- ・融点 : 102.5 °C (軟化点)
- ・沸点 : データなし
- ・引火点 : 212 °C
- ・比重 : 0.775 g/cm³ at 120 ° C
- ・発火点 : データなし
- ・爆発特性 : データなし
- ・溶解性 : データなし
- ・分解温度 : データなし
- ・粘度 (粘性率) : 390 mPa · s at 140 °C

【10. 安定性及び反応性】

- 安定性・反応性 : 通常の条件下で安定。
- 危険有害反応可能性 : 酸化剤、強酸類と反応する。自己反応性なし。
- 避けるべき条件 : 長時間加熱、火災、発火源
- 混触危険物質 : 酸化剤、強酸類
- 危険有害な分解生成物 : データなし

【11. 有害性情報】

- 急性毒性 : 経口/ラット LD50 > 5000 mg/kg³⁾ 区分外
経皮/ウサギ LD50 > 3600 mg/kg³⁾ 区分外
吸入/データなし
- 皮膚腐食性/刺激性 : ウサギ試験で not irritating³⁾ と slightly irritating³⁾
ヒト皮膚刺激性試験の結果では not irritating³⁾ 区分外
- 眼に対する重篤な
損傷/刺激性 : ウサギで slightly irritant³⁾ 及び mild irritant⁴⁾ 区分 2B
- 発がん性 : IARC 該当せず
ACGIH 該当せず
- 特定標的臓器毒性
単回ばく露 : 気道刺激性⁹⁾ 区分 3

【12. 環境影響情報】

生態毒性	: 水生毒性データなし
水溶解度	
（パラフィンワックス）	: 溶けない ¹⁾
残留性・分解性	: 微生物による分解性あり ¹⁶⁾
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: モントリオール議定書の付属書には列記されていない。

【13. 廃棄上の注意】

廃棄物の処理方法	: 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
----------	-----------------------------

【14. 輸送上の注意】

国連番号・国連分類	: 国連番号に該当しない
特別の安全対策	: 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。
バルク輸送における MARPOL 条約附属書 II 改訂有害液体物質及び IBC コード	: 有害液体物質（Y 類）混合物

【15. 適用法令】

労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき有害物 （法第 57 条、施行令第 18 条別表第 9、固形パラフィン） 名称等を通知すべき有害物 （法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9、固形パラフィン）
化学物質管理促進法 （PRTR 法）	: 該当しない
消防法	: 指定可燃物、可燃性固体類
水質汚濁防止法	: 日当たり平均的排水量 50 m ³ 以上の特定事業場に適用される排水基準 生活環境項目 ノルマルヘキサン抽出物質含有量（鉱油類含有量） : 5 mg/L 海洋汚染防止法 : 有害液体物質 Y 類物質 混合物
下水道法	: 鉱油類排出規制（5 mg/L 許容濃度）
廃棄物の処理及び清掃に 関する法律	: 産業廃棄物規制（拡散、流出の禁止）
毒物及び劇物取締法	: 該当しない

【16. その他の情報】

本製品は用途の変更や一般家庭での使用は避けてください。注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであり特別の取り扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を実施してください。また、記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をするものではありません。

【参考文献】

- 1) ICSC(J) (2003) : 国際化学物質安全性カード パラフィンワックス ICSC 番号 1457
- 2) JCDB Chem. DB (2010) : 安全衛生情報センター 固形パラフィン GHS 対応 MSDS
- 3) IUCLID (2000)
- 4) RTECS (2008)
- 5) 農薬安全情報 (1992)
- 6) JECFA (1993)
- 7) JECFA (2003)
- 8) EHC20 (1982)
- 9) PATTY 5th (2001)
- 10) EHC 20 (1982)
- 11) 日本産業衛生学会(2019 年版)
- 12) ACGIH(2019 年版)
- 13) GHS 分類結果 (H23.3.15 再分類分) ID21B3029 固形パラフィン
- 14) P.Shubik et al : Toxicol Appl, Pharmacol. , Suppl, 4, 62 (1962)
- 15) A.O.Hanstveit : TNO Report, Netherland orga, for Appl, Resear (1990)
- 16) 日本ワックス工業会 : “ワックスの生分解性について” 会報 第 13 号,4~34 (1995)
- 17) Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013),UN
- 18) Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN
- 19) Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
- 20) 2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
- 21) JIS Z 7253 (2012 年)

【災害事例】

情報なし

【改訂履歴】

00 2019年 11月 8日 初版